

2013年携帯サイトへGo!→
携帯で教室便りが見られます**教室だより 3月号****世界の修了生が語る「KUMON」**

公文式本市場教室 火・木 3～7時 TEL 186-61-4936 (上平方)

横割教室 月・水 3～7時 TEL 61-8891 (福島方)

指導者: 新妻ゆき子 携帯 090-2260-0671

Eメール: yvonne-yukiko@mbi.nifty.com

携帯アドレス: yvonne-1682-yukiko@docomo.ne.jp

ゆきこくもん

検索

ホームページ <http://www.yukiko-kumon.com>

梅のつぼみもそろそろ膨らむ季節となつてまいりました。3月の異称、弥生(やよい)は、草木がいよいよ生い茂るという意味の「弥生(いやよい)」が転じたと言われています。新しい学年へと成長する、今の時期に相応しい由来だと思ひます。

3月は現在の学年が修了する月ですが、公文式には時期による修了はありません。最終教材を修了したときが、修了のときです。公文式の修了生は世界中にいますが、彼らの多くが、公文式の学習を通して数学力や読解力といった学力とともに、自学自習力や失敗を恐れずチャレンジする力など、社会に出てから必要となる力が身についたと語ってくれます。

修了生への道のりは決して平坦なものではなく、いくつもの壁を乗り越えてたどり着いた生徒ばかりです。世界中でたくさんの公文式の修了生が力を合わせるようになれば、きっと地球は今より住みやすく、人や自然に優しい、素敵な社会に近づいていけるのではないかと思います。

公文式の創始者・公文 公(くもん とおる) 先生の言葉より**たくさん読み聞かせをして本好きに育てましょう**

わが子を本好きにしたいと思ったら、身近に本がたくさんある環境を作りましょう。そして、親が本を読む姿を見せることです。次の働きかけは読み聞かせです。子どもが本を読まない理由は、読んでもおもしろくないからです。おもしろくない理由には、文章を読んでも意味がわからない、読めても場面が頭に浮かばないなどがあります。ところが読み聞かせをしてあげると、言葉が耳から自然に入ってきますし、子どもの反応を見て読み手が解説を加えたり、くり返し読んだりすることもでき、場面が頭に浮かびやすくなるのです。そのため、自分で読んだのではよくわからなくても、耳から聞けばわかるという本はたくさんあります。本のおもしろさを、まず読み聞かせによって知らせてあげましょう。そして、幼児期から本に親しみ、読書できる力をつけて、本好きな子どもに育ててほしいと強く願っています。読書によって自分の人生を切り開くための十分な知識を吸収し、見識を高めていってほしいのです

2013年 3月の学習日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20 春分の日	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

本市場教室日□

横割教室日△

雨ふって じかたまる

雨がふるのは困ることのようにだが、雨の後の地面は前よりもすっかりかたまる。人と人との間にもめぐりが起こっても、かえってそのおかげで、前よりその人たちのむすびつきがかたくなることのとえ。

「けんかした友だちと仲なおりましたら、前より仲よくなった。雨ふって地固まるだね。」

くもん出版刊「ことわざカード」より

今月のことわざ

KUMON

公文をもっとわかってください(24)

【第24回】公文式学習法

1. 努力に努力を重ねて

苦手な算数を克服したいと小5で2A教材のたし算から公文を始めたSくん。Y先生は目標を決めることでやる気を高めようと「中学に入るまでにG教材（中1相当）を勉強しているようになろう」と提案した。

物静かで口数も少ないSくんだが「がんばります」と力強い返答。その言葉通り、一日30枚のプリントを学習する。訂正が多く、なかなか先に進めない時もあったが「ここは難しいところだから」「あなただけができないんじゃないよ」と先生は声をかけ続けた。くじけそうなときには「あなたが一番がんばっているね」と励ましながら。

根気よく学習をくり返し、一年後の小6・2月には目標を達成。G教材に入った。小6からは英語もスタート。

算数で身につけた自学自習の姿勢と英語への興味でどんどん教材は進み、中学では英語が得意科目になる。

数学も着実に力を伸ばし、学校での成績は上位に。部活動の卓球でも活躍し県大会に出場した。

「自分のやりたいことに積極的に取り組み、イキイキしています。学校でのことなど、いろんな話をしてくれるようにもなって」とお母さんも驚く程の変化だった。将来は英語の先生になりたいと、現在は大学の英米科に進学し、目標に向かってがんばっています。

「壁にぶつかることもあるけれど、乗り越えた時の喜びはとても大きい」と後輩たちへのメッセージを残してくれたSくんなら、自分で見つけた道を切り拓いていってくれるだろう。努力を重ねるSくんの姿は、先入観で子どもの限界を決めてはいけなさと教えてくれました。

2. 悔しさをバネに

1歳10か月で学習を始めたHちゃんは負けず嫌いな女の子。

幼児の頃は、難しいと思ったり、間違えたりすると「もうやらない!」と悔しさを爆発させ、「じゃあ、もうやめてもいいから」とうと、「いやだ、やる」と泣きながら最後までやり通していた。小1の時、算数H教材の連立方程式でつまずき、プリントをくしゃくしゃに丸めてポイと投げてしまう。解けない苦しさやもどかしさが抑えきれなかったのかもしれない。しかし「ここまでがんばって解いたのにどうして? それにプリントは大事にしなきゃだめ。

そんなことするのなら帰きなさい」としかると本当に帰ってしまった。家に連絡して事情を話し「うまくいかないときもあるけれど、みんな自分で乗り越えています。Hちゃんも心配ないと思います」と伝え、お母さんも「そのうち落ちついて学習できるようになるでしょう」と。いつも学校帰りにスイミング教室に通い、それから公文の学習もしっかりやる根性のあるHちゃん。きっと悔しさをバネにがんばってくれると信じていると、次の教室日にはいつも通りやってきて、くしゃくしゃのプリントを広げて学習を始めた。それからは、泣くことも途中で帰ることもない。おとうさんには「公文は絶対にやめないからね」と話しているという。それは、Hちゃんが自分の力でできた時の喜びや達成感を知っているからだろう。困難と向き合い、のり越えることも大切な経験。つらいときにもあきらめずにがんばれるよう、子どもの気持ちにより添い、状況に応じて対応をするのも指導者の役目です。

*ゆき子の一言コラム

夢の実現のためにも

「子どもにはそれぞれに可能性がある」と信じています」だからこそ子どものやる気を引き出し、その気持ちを学ぶ楽しさに変えて、限界を決めずに伸びるだけ伸ばしてあげたい。そして公文で積み重ねた努力、身につけた力が、いつかやりたいことを見つけたときの後押しになるようにと願っています。「学校の先生になりたい」「獣医さんになりたい」「アイドルになりたい」…子どもたちの夢はさまざま。自分の進むべき道を見つけ、しっかりと歩んでいける力を培えるようにと、先生は一人ひとりを温かく見守っています。

*教室での決まりごと。

- ・はきものはきちんとそろえよう!
- ・あいさつは おおきなこえで はっきりしよう!
- ・もちものには なまえ をかきましょう!
- ・でんわをかりたら かならず 10えん いれてください!

その他連絡

お休みの時は電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。